

吉備国際大学学則

第1章 総 則

(目的)

第1条 本学は、教育基本法および学校教育法の本旨にのっとり、国際化社会に向けて学部・学科の学術研究領域に関する理論および社会の問題を研究教授し、応用能力をもつ人格を陶冶することを目的とする。

2 本大学の学部ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は次のとおりとする。

学部名	目的
社会学部	現代社会の諸問題を発見・解決するための専門的な知識と技術を教授し、協調性と創造性を併せ持つ豊かな人間性を培い、社会に貢献し得る有為な人材を養成する。
保健医療福祉学部	医療・保健・社会福祉分野における専門職として必要な知識・技術を教授し、人間・生命の尊厳を基盤とした豊かな人間性を培い、地域社会において貢献し得る有為な人材を養成する。
国際環境経営学部	環境分野における専門的な知識と技術を教授し、コミュニケーション・スキル及び問題解決能力を培い、環境政策及び企業の環境経営において活躍し得る人材を養成する。
心理学部	心理学・発達科学分野における専門的知識と技術を教授し、学生個々の長所を生かしてその人間的魅力を高め、社会人としての良識と教養を備えた人材を養成する。
文化財学部	文化財の保存修復に関する専門的な知識と技術を教授し、多文化・異文化を尊重する豊かな人間性を培い、国内外の文化伝承に貢献し得る人材を養成する。

3 本大学の学科ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は次のとおりとする。

学科名	目的
国際社会学科	国際社会に関する理論と専門知識について、グローバルな視点から幅広く教授し、国際社会と地域社会に貢献し得る人材を養成する。
ビジネス コミュニケーション学科	ビジネス社会における経営・サービス・メディア・情報に関して専門的な知識と技術を教授し、企業や地域社会において積極的に行動し得る人材を養成する。
スポーツ社会学科	スポーツの指導、組織化、運営に関する専門的な知識と技術を教授し、スポーツ関連諸機関において、人間関係を重視しリーダーシップをとり得る人材を養成する。
看護学科	看護に関する専門知識と技術を教授し、人間・生命の尊厳を護る倫理的態度を培い、科学的根拠に基づくケアを実践し、看護の創造的発展に寄与する人材を養成する。
理学療法学科	理学療法に関する専門知識と技術を教授し、医療人としての主体性と創造性を培い、科学的根拠に基づいた理学療法を実践し得る人材を養成する。
作業療法学科	作業療法に関する専門知識と技術を教授し、障害者の尊厳、主体性の尊重等を基盤とした豊かな人間性を培い、倫理観にもとづいた作業療法実践を展開し得る人材を養成する。
社会福祉学科	福祉マインドが豊かで、社会で起こっている保健、医療、福祉分野の諸問題を的確に把握する力、そして解決するために様々な人々を巻き込むことのできるコーディネート力を持ったソーシャルワーカーを養成する。
環境経営学科	環境分野における専門的な知識と技術を教授し、コミュニケーション・スキル及び問題解決能力を培い、環境政策及び企業の環境経営において活躍し得る人材を養成する。
心理学科	心理学分野における専門的知識と技術を教授し、学生個々の長所を生かしてその人間的魅力を高め、社会人としての良識と教養を備えた人材を養成する。
子ども発達教育学科	子どもの成長発達への直接的な援助や家庭や地域における子育て支援に関して、「心理」「保育」「教育」「児童福祉」の各分野における専門的な知識と技術を網羅的、統合的に教授することを目的とする。

文化財修復国際協力量科	文化財の保存修復に関する専門的な知識と技術を教授し、多文化・異文化を尊重する豊かな人間性を培い、国内外の文化遺産に貢献し得る人材を養成する。
アニメーション文化学科	メディア芸術の文化的価値と社会の重要性を理解しつつ、アニメーターとしてだけでなく、作品の制作・収集、クリエイター等の作品の発表をサポートでき、アニメーション文化の発展を総合的に担える専門職人材の養成を目的とする。

(学部、学科および収容定員)

第2条 本学に次の学部および学科を置き、収容定員を次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	編入学定員(3年次)	収容定員
社会学部	国際社会学科	50名	10名	220名
	ビジネス コミュニケーション学科	60名	10名	260名
	スポーツ社会学科	120名	10名	500名
保健医療福祉学部	看護学科	40名	10名	180名
	理学療法学科	40名		160名
	作業療法学科	40名		160名
	社会福祉学科	50名	20名	240名
国際環境経営学部	環境経営学科	70名		280名
心理学部	心理学科	60名		240名
	子ども発達教育学科	40名		160名
文化財学部	文化財修復国際協力量科	40名	20名	200名
	アニメーション文化学科	40名		160名

(留学生別科)

第2条の2 本学に留学生別科を置き、収容定員を次のとおりとする。

留学生別科	入学定員	収容定員
留学生別科	120名	120名

2 留学生別科に関する規程は、別に定める。

(修業年限)

第3条 本学の修業年限は、4年とする。

(在学期間)

第4条 在学期間は疾病その他の事由により延長することができる。ただし、在学期間は8年をこえることはできない。

第2章 学年・学期および休業日

(学年)

第5条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(学期)

第6条 1学年の授業期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とし、1学年を分けて次の2期とする。

春学期	4月1日から9月20日
秋学期	9月21日から翌年3月31日

(休業日)

第7条 学年中の定期休業日は、次のとおりとする。

- 一 日曜日
- 二 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
- 三 創立者の日 4月30日
- 四 創立記念日 5月4日
- 五 夏季休業 8月1日から9月20日まで
- 六 冬季休業 12月21日から翌年1月7日まで
- 七 学年末休業 3月4日から3月31日まで

- 2 特別の事情があるときは、学長は前項の休業期間を変更することがある。
- 3 臨時の休業日は、そのつど学長が定める。

第3章 授業科目および単位数

(授業科目の区分)

第8条 各学部において開設する授業科目は、次のとおりとし、これを4年間に配当して教授する。

学 部	学 科	授 業 科 目
社 会 学 部	国 際 社 会 学 科	教養科目・専門教育科目・教職に関する科目・社会教育主事に関する科目・日本語教員養成に関する科目
	ビジネス コミュニケーション学科	教養科目・専門教育科目・教職に関する科目・社会教育主事に関する科目・日本語教員養成に関する科目
	ス ポ ー ツ 社 会 学 科	教養科目・専門教育科目・教職に関する科目・社会教育主事に関する科目・日本語教員養成に関する科目
保 健 医 療 福 祉 学 部	看 護 学 科	教養科目・専門教育科目
	理 学 療 法 学 科	教養科目・専門教育科目
	作 業 療 法 学 科	教養科目・専門教育科目
	社 会 福 祉 学 科	教養科目・専門教育科目・教職に関する科目
国 際 環 境 経 営 学 部	環 境 経 営 学 科	教養科目・専門教育科目・教職に関する科目
心 理 学 部	心 理 学 科	教養科目・専門教育科目・教職に関する科目
	子 ども 発 達 教 育 学 科	教養科目・専門教育科目
文 化 財 学 部	文 化 財 修 復 国 際 協 力 学 科	教養科目・専門教育科目
	ア ニ メ ー シ ョ ン 文 化 学 科	教養科目・専門教育科目

(社会学部に関する科目)

第9条 国際社会学科に関する科目の単位数は別表Ⅰ－(1)のとおりとする。

- 2 ビジネス コミュニケーション学科に関する科目の単位数は別表Ⅰ－(2)のとおりとする。
- 3 スポーツ社会学科に関する科目の単位数は別表Ⅰ－(3)のとおりとする。

(保健医療福祉学部に関する科目)

第10条 看護学科に関する科目の単位数は別表Ⅱ－(1)のとおりとする。

- 2 理学療法学科に関する科目の単位数は別表Ⅱ－(2)のとおりとする。
- 3 作業療法学科に関する科目の単位数は別表Ⅱ－(3)のとおりとする。
- 4 社会福祉学科に関する科目の単位数は別表Ⅱ－(4)のとおりとする。

第11条 削除

(国際環境経営学部に関する科目)

第12条 環境経営学科に関する科目の単位数は別表Ⅲ－(1)のとおりとする。

(心理学部に関する科目)

第13条 心理学科に関する科目の単位数は別表Ⅳ－(1)のとおりとする。

- 2 子ども発達教育学科に関する科目の単位数は別表Ⅳ－(2)のとおりとする。

(文化財学部に関する科目)

第14条 文化財修復国際協力学科に関する科目の単位数は別表Ⅴ－(1)のとおりとする。

- 2 アニメーション文化学科に関する科目の単位数は別表Ⅴ－(2)のとおりとする。

(教職関連科目及び教職に関する科目)

第15条 社会学部国際社会学科、ビジネス コミュニケーション学科、スポーツ社会学科の教職に関する科目の単位数は別表Ⅰ－(4)のとおりとする。

- 2 保健医療福祉学部社会福祉学部社会福祉学科の教職に関する科目の単位数は別表Ⅱ－(4)のとおりとする。
- 3 国際環境経営学部環境経営学科の教職関連科目の単位数は別表Ⅲ－(2)のとおりとする。
- 4 心理学部心理学科の教職に関する科目の単位数は別表Ⅳ－(3)、子ども発達教育学科の教職に関する科目の単位数は別表Ⅳ－(4)のとおりとする。

(社会教育主事に関する科目)

第16条 社会学部国際社会学科、ビジネス コミュニケーション学科、スポーツ社会学科の社会教育主事に関する科目の単位数は別表Ⅰ－(5)のとおりとする。

(日本語教員養成に関する科目)

第17条 社会学部国際社会学科、ビジネス コミュニケーション学科、スポーツ社会学科の日本語教員養成に関する科目の単位数は別表Ⅰ－(6)のとおりとする。

(授業科目の単位の基準)

第18条 1 単位の授業科目を、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して次の基準により単位数を計算するものとする。

- 一 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 二 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(授業の方法)

第18条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

- 2 本学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 3 本学は、第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
- 4 本学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、第1項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。
- 5 前2項に関する規程は別に定める。

(学部・大学院一貫教育)

第18条の3 本学は、建学の理念を具現化するにあたり、特に優秀な学生に対して、その能力を一層伸長させることを目的に、学部と大学院修士課程を有機的かつ効率的に関連付けた一貫教育の提供を行う。

- 2 前1項に関する規程は別に定める。

第4章 入学・休学・転学・留学および退学

(入学)

第19条 入学は学年の始めとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、教育上支障がない場合に限り、第6条の学期の区分により秋学期入学を認めることができる。

第20条 本学の第1年次に入学することができる者は、次の各号の一に該当するものとする。

- 一 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- 二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）
- 三 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 四 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 五 文部科学大臣の指定した者
- 六 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定に合格した者を含む）
- 七 本学の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

第21条 本学に入学を志望する者は、入学願書に所定の入学検定料および別に定める書類を添えて本学に願出しなければならない。

- 2 入学願書の受付期間は別に定める。
- 3 第1項・第2項の規定は、第25条、第28条および第36条の規定により入学を志願する場合にもこれを準用する。

第22条 入学志願者については学力および人物について選考する。

第23条 入学試験合格者は教授会の議を経て学長が決する。

(入学手続)

第24条 入学試験合格者は、指定の期日までに保証人連署の誓約書、その他本学所定の書類を提出するとともに、所定の入学金、授業料およびその他の諸納付金を納入し、かつ所定の宣誓をしなければならない。

- 2 入学試験合格者が故なくして、前項の手続きを怠るときは、合格の許可を取り消すことがある。
- 3 第1項の手続きを完了した者に対して学長は入学許可を与える。
- 4 編入学、転入学および再入学の場合も同様とする。

(編入学)

第25条 本学の3年次編入学定員のある学科に編入学を希望する者は、選考の上、教授会の議を経て、編入学を許可することができる。ただし、2年次以降で、当該学科の収容定員に欠員がある場合も同様とする。その他、教育上支障がないと認めた場合も同様に許可することができる。

- 2 編入学による学生の在学期間は、入学許可された年次に応じた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えることはできない。
- 3 編入学に関する規程は別に定める。

(転学部・転学科)

第26条 学生が所属学部から他の学部へ転部また、所属学部内において他学科へ転科をしようとするときは、収容定員に欠員のある場合に限り教授会の議を経て学長が許可することができる。その他、教育上支障がないと認めた場合も許可することができる。

(転入学)

第27条 学生が他の大学へ転学又は入学を志願しようとするときは、あらかじめ退学する旨の退学願を学長に提出し、許可を受けなければならない。

第28条 他の大学から転入学を志願する者については、収容定員に欠員のある場合に限り、選考の上教授会の議を経て学長が許可することがある。その他、教育上支障がないと認めた場合も許可することがある。

(留学)

第29条 本学が教育上有益と認めるときは、外国の大学との協議に基づき学生が当該大学に留学することを認めることができる。

2 前項の留学した期間は、第3条に規定する修業年限に算入するものとする。

3 第41条第1項及び第2項の規定は学生が留学する場合について準用する。

4 留学に関する規程は別に定める。

(休学)

第30条 学生は、疾病その他の事由により、引続き3月以上修学困難な場合は、医師の診断書または詳細な事由書を添えて、保証人連署のうえ学長に願い出て、許可を受け休学することができる。

2 疾病その他の事由により、修学することが適当でないと思えられる学生に対しては、学長は、教授会の議を経て期間を定め、休学を命ずることがある。

第31条 休学期間は、引続き1年をこえることはできない。

ただし、特別の事由があるときは、さらに1年以上の休学を許可することがある。

第32条 休学期間は、通算して4年をこえることはできない。

第33条 休学期間は、在学期間に算入しない。

(退学)

第34条 学生が疾病その他の事由により退学しようとするときは、医師の診断書または詳細な事由書を添え、保証人連署をもって学長に願い出て許可を受けなければならない。

(復学)

第35条 休学期間内であっても、事由が消滅し、修学しようとするときは、復学願を提出して学長の許可を受けて復学することができる。

(再入学)

第36条 次の各号の一に該当する者が所定の手続きを経て入学を願い出たときは、学長は教授会の議を経て入学を許可することがある。

一 本学を第34条により退学し、同一学科に再入学を願い出た者

二 第51条の(二)により除籍された者で、別に定める規程により再入学を願い出た者

2 前項による入学者のすでに修得した単位および在学した期間の認定は、教授会の審査による。

第5章 授業科目の履修単位修得の認定および卒業

(授業科目の履修および単位修得)

第37条 学生は、在学中所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

(単位修得の認定)

第38条 一つの授業科目を履修した者に対しては、認定の上所定の単位を与える。

第39条 単位修得の認定は、試験その他によって行なう。

(学習の評価)

第40条 試験の成績は100点をもって満点とし、60点以上を合格とする。これを公表する場合は、秀(S)・優(A)・良(B)・可(C)・不可(D)の評語をもってし、不可(D)は不合格とする。

(他大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第41条 本学は、教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学(外国の大学又は短期大学を含む。以下「他大学等」という。)との協議に基づき、本学学生に当該他大学等の授業科目を履修させることができる。

2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、教授会の議を経て、60単位を超えない範囲で本学の授業科目の履修により修得したものと認めることができる。

(大学以外の教育施設等における学修)

第42条 本学は、教育上有益と認めるときは、本学学生が短期大学又は高等専門学校(専攻科)における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、第41条第2項により本学において履修したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第43条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した授業科目の単位を含む。)を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を本学における授業

科目の履修とみなし、教授会の議を経て、単位を与えることができる。

- 3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第41条第2項及び前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(卒業)

第44条 本学に4年以上在学し、次の各号に定める授業科目を履修し、単位を修得することによって、次表の単位数を満たした者に対して学長は教授会の議を経て卒業を認定し、学位記を授与する。

学 部	学 科	各科目合計で修得すべき単位数
社 会 学 部	国 際 社 会 学 科	124 以上
	ビ ジ ネ ス コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	124 以上
	ス ポ ー ツ 社 会 学 科	124 以上

(1) 教養科目については、次のとおり修得するものとする。

学 部	学 科	修 得 す べ き 単 位 数
社 会 学 部	国 際 社 会 学 科	30 以上
	ビ ジ ネ ス コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	30 以上
	ス ポ ー ツ 社 会 学 科	30 以上

(2) 専門教育科目については、次のとおり修得するものとする。

学 部	学 科	修 得 す べ き 単 位 数
社 会 学 部	国 際 社 会 学 科	94 以上
	ビ ジ ネ ス コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	94 以上
	ス ポ ー ツ 社 会 学 科	94 以上

(3) 国際社会学科においては、授業科目区分、分野ごとに次のとおり修得するものとする。

授業科目区分、分野	修得すべき単位数
言 語 教 育	8 以上 ただし、留学生は16 以上
学 部 共 通 専 門 科 目	20 以上
学 科 専 門 科 目	30 以上
演 習 ・ 卒 業 論 文	20 以上

(4) ビジネス コミュニケーション学科においては、授業科目区分、分野ごとに次のとおり修得するものとする。

授業科目区分、分野	修得すべき単位数
言 語 教 育	8 以上 ただし、留学生は16 以上
学 部 共 通 専 門 科 目	20 以上
学 科 専 門 科 目 ビ ジ ネ ス マ ネ ジ メ ン ト 科 目 群 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン デ ザ イ ン 科 目 群	30 以上
演 習 ・ 卒 業 論 文	20 以上

(5) スポーツ社会学科においては、授業科目区分、分野ごとに次のとおり修得するものとする。

授業科目区分、分野	修得すべき単位数
言語教育	8 以上 ただし、留学生は16 以上
学部共通専門科目	14 以上
学科専門科目 スポーツマネジメント科目群 サッカーコーチング科目群 健康スポーツ科目群	いずれかの科目群より16 以上
演習・卒業論文	20 以上

学部	学科	各科目合計で修得すべき単位数
保健医療福祉学部	看護学科	128 以上
	理学療法学科	125 以上
	作業療法学科	124 以上
	社会福祉学科	124 以上

(1) 教養科目については、言語教育科目・情報・総合科目A群・総合科目B群の4分野において、次のとおり修得するものとする。

学部	学科	修得すべき単位数
保健医療福祉学部	看護学科	22 以上
	理学療法学科	22 以上
	作業療法学科	24 以上
	社会福祉学科	34 以上

(2) 専門教育科目については、次のとおり修得するものとする。

学部	学科	修得すべき単位数
保健医療福祉学部	看護学科	106 以上
	理学療法学科	103 以上
	作業療法学科	100 以上
	社会福祉学科	90 以上

(3) 社会福祉学科については、授業科目区分、分野ごとに次のとおり修得するものとする。

授業科目区分、分野	修得すべき単位数
言語教育	8 以上 ただし、留学生は16 以上

学部	学科	各科目合計で修得すべき単位数
国際環境経営学部	環境経営学科	124 以上

(1) 教養科目については、次のとおり修得するものとする。

学部	学科	修得すべき単位数
国際環境経営学部	環境経営学科	32 以上

(2) 専門教育科目については、次のとおり修得するものとする。

学 部	学 科	修 得 す べ き 単 位 数
国際環境経営学部	環 境 経 営 学 科	92 以上

(3) 国際環境経営学科においては、授業科目区分、分野ごとに次のとおり修得するものとする。

授業科目区分、分野	修得すべき単位数
言 語 教 育	8 以上 ただし、留学生は16 以上
言 語 教 育 ・ A 群 ・ B 群	各群にわたり24 以上
専 門 共 通 科 目	24 以上
環境経営・食農経営共通科目及び環境経営科目 環境経営・食農経営共通科目及び食農経営科目 知 的 財 産 経 営 科 目 実 践 I T 経 営 科 目	いずれかの科目群より24 以上
総 合 科 目	24 以上

学 部	学 科	各科目合計で修得すべき単位数
心 理 学 部	心 理 学 科	124 以上
	子 ども 発 達 教 育 学 科	124 以上

(1) 教養科目については、次のとおり修得するものとする。

学 部	学 科	修 得 す べ き 単 位 数
心 理 学 部	心 理 学 科	30 以上
	子 ども 発 達 教 育 学 科	32 以上

(2) 専門教育科目については、次のとおり修得するものとする。

学 部	学 科	修 得 す べ き 単 位 数
心 理 学 部	心 理 学 科	94 以上
	子 ども 発 達 教 育 学 科	92 以上

(3) 子ども発達教育学科については、授業科目区分、分野ごとに次のとおり修得するものとする。

授業科目区分、分野	修得すべき単位数
言 語 教 育	8 以上 ただし、留学生は16 以上

学 部	学 科	各科目合計で修得すべき単位数
文 化 財 学 部	文 化 財 修 復 国 際 協 力 学 科	124 以上
	ア ニ メ ー シ ョ ン 文 化 学 科	124 以上

(1) 教養科目については、次のとおり修得するものとする。

学 部	学 科	修 得 す べ き 単 位 数
文 化 財 学 部	文 化 財 修 復 国 際 協 力 学 科	26 以上
	ア ニ メ ー シ ョ ン 文 化 学 科	30 以上

(2) 専門教育科目については、次のとおり修得するものとする。

学 部	学 科	修 得 す べ き 単 位 数
文 化 財 学 部	文 化 財 修 復 国 際 協 力 学 科	98 以上
	ア ニ メ ー シ ョ ン 文 化 学 科	94 以上

2 教育職員免許状を得ようとする者は、別に定める教員免許状取得に関する規程に従い、教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得しなければならない。所定の単位を修得して卒業する者には、次の免許状を取得する資格が与えられる。

学 部	学 科	免 許 状 の 種 類	教 科
社 会 学 部	国 際 社 会 学 科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社 会 公 民 地 歴
	ビ ジ ネ ス コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社 会 公 民 地 理 歴 史
	ス ポ ー ツ 社 会 学 科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	保 健 体 育 保 健 体 育
保 健 医 療 福 祉 学 部	看 護 学 科	高等学校教諭一種免許状 養護教諭一種免許状	看 護
	社 会 福 祉 学 科	高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	公 民 福 祉
国 際 環 境 経 営 学 部	環 境 経 営 学 科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社 会 公 民
心 理 学 部	心 理 学 科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社 会 公 民
	子 ど も 発 達 教 育 学 科	幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状	

3 博物館学芸員の資格を得ようとする者は、博物館法及び同法施行規則に定める単位を修得しなければならない。

所定の単位を修得して卒業する者には、博物館学芸員の資格を取得する資格が与えられる。

4 保育士養成に係る規程は別に定める。

5 社会福祉士養成に係る規程は別に定める。

(学位)

第45条 本学を卒業した者に学士の学位を授与する。

学 部	学 科	学 位
社 会 学 部	国 際 社 会 学 科	社 会 学
	ビ ジ ネ ス コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	社 会 学
	ス ポ ー ツ 社 会 学 科	社 会 学
保 健 医 療 福 祉 学 部	看 護 学 科	保 健 科 学
	理 学 療 法 学 科	保 健 科 学
	作 業 療 法 学 科	保 健 科 学
	社 会 福 祉 学 科	社 会 福 祉 学
国 際 環 境 経 営 学 部	環 境 経 営 学 科	環 境 経 営 学
心 理 学 部	心 理 学 科	臨 床 心 理 学
	子 ど も 発 達 教 育 学 科	子 ど も 発 達 教 育 学
文 化 財 学 部	文 化 財 修 復 国 際 協 力 学 科	文 化 財 学
	ア ニ メ ー シ ョ ン 文 化 学 科	文 化 財 学

第6章 表彰・懲戒および除籍

(表彰)

第46条 学生が他の模範となる行為をしたときは、学長は教授会の議を経て表彰することがある。

(懲戒)

第47条 学生が本学の諸規則に違反し、学内の秩序を乱し、その他学生の本分に反する行為をしたときは、学長は教授会の議を経てこれを懲戒する。

第48条 懲戒の種類は次のとおりとする。

訓 告
停 学
退 学

第49条 学生が次の各号の一に該当するときは、学長は懲戒により退学を命ずることができる。

- 一 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- 二 学業を怠り、成業の見込みがないと認められる者
- 三 正当の理由がなく出席常でない者
- 四 学内の秩序を乱し学生の本分に反した者

第50条 停学が引続き3月以上にわたるときは、その期間は修業年限に算入しない。

(除籍)

第51条 学生が、次の各号の一に該当するときは、学長は教授会の議を経て除籍することができる。

- 一 第4条の在学期間修業してなお卒業の認められない者
 - 二 正当な理由なく授業料その他の諸納付金納入の義務を怠り、再三の督促を受けてもなお納入しない者
 - 三 長期間にわたり行方不明の者
 - 四 死亡した者
- 2 前項の規定にかかわらず、前項第四号に掲げる者については、教授会の議を経ずに除籍するものとする。この場合においては、当該学生が死亡した日をもって除籍とする。

第7章 入学検定料・入学金および授業料その他

第52条 本学の入学検定料、入学金および授業料、その他諸納付金は別表VIのとおりとする。

第53条 演習および実習などに要する費用は別に徴収する。

第54条 第52条および第53条の諸納付金は、別に定める規程により納付しなければならない。

- 2 所定の期日までに納入金の納入を怠っている者は、それを納入するまで授業および試験に出席することならびに附属図書館備えつけの図書を閲覧することを禁止することがある。

第55条 休学中の納付金は、月額25,000円とする。

第56条 転学、退学および停学者は、その期の諸納付金は納入しなければならない。

第57条 既納の納付金は原則として返還しない。

第8章 科目等履修生・研究生・委託生・特別聴講学生および外国人留学生

(科目等履修生)

第58条 本学学生以外の者で本学の特定の科目について履修を願い出た者があるときは、授業に支障を来さない限り選考の上、科目等履修生としてこれを許可する。

- 2 科目等履修生に関する規程は別に定める。

(研究生)

第59条 国内外の大学、公共団体、企業からの委託又は個人から本大学において研究することを願い出た者があるときは、選考の上研究生としてこれを許可する。

- 2 研究生に関する規程は別に定める。

(委託生)

第60条 公共団体又はその他の機関から本学の特定の授業科目について修学を委託される者があるときは、授業に支障を来さない限り選考の上委託生としてこれを許可する。

第61条 委託生に関する規程は別に定める。

(特別聴講学生)

第62条 他の大学（外国の大学を含む）の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他大学との協議に基づき、特別聴講学生としてこれを許可する。

第63条 特別聴講学生に関する規程は別に定める。

(外国人留学生)

第64条 外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に留学を志願する者があるときは、選考の上外国人留学生として入学を許可する。

2 外国人留学生については、日本語関連科目を開設する。

第65条 外国人留学生に関する規程は別に定める。

(帰国子女)

第66条 外国人留学生以外の学生で、外国において相当の期間高等学校に対応する学校における教育を受けた者で、教授会が必要と認めた社会学部に属する学生の場合は第64条第2項に定める科目を履修することができる。

第9章 公開講座

第67条 地域の教育、文化の向上に資するため本学に公開講座を開設することができる。

第10章 特待生および奨学生

第68条 学生にして学力優秀品行方正かつ身体強健なる者を特待生とすることができる。

第69条 前条に関する規程は別に定める。

第11章 教職員組織

第70条 本学に総長、学長、副学長、研究科長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員およびその他の教職員を置く。

第12章 教授会および大学協議会

(教授会)

第71条 本学に次の教授会を置く。

社会学部教授会

保健医療福祉学部教授会

国際環境経営学部教授会

心理学部教授会

文化財学部教授会

2 本学学部教授会に関する規程は別に定める。

(大学協議会)

第72条 本学に大学協議会を置く。

2 大学協議会に関する規程は別に定める。

第13章 大学院

(大学院)

第73条 本学に大学院を置く。

2 前項に関する学則は別に定める。

第14章 附属図書館

(附属図書館)

第74条 本学に附属図書館を置く。

2 前項の施設に関する規程は別に定める。

第15章 附属研究所

(附属研究所)

第75条 本学に附属研究所を置く。

保健福祉研究所

臨床心理相談研究所

文化財総合研究センター

国際社会学研究所

2 前項の各研究所に関する規程は別に定める。

第16章 附属センター

(附属センター)

第76条 本学に附属センターを置く。

健康管理センター

ボランティアセンター

2 前項のセンターに関する規程は別に定める。

第17章 保健および厚生施設

(保健および厚生施設)

第77条 本学に保健室ならびに厚生に関する諸施設を設ける。

(健康診断)

第78条 教職員および学生の健康管理のため健康診断を行なう。

附 則

この学則は平成2年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は平成3年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第43条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は平成4年4月1日から施行する。

なお、第2条の規定にかかわらず、平成4年度から平成11年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
社会学部	
国際社会学科	150名
産業社会学科	150名
計	300名

附 則

この改正学則は平成4年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第43条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は平成4年10月1日から施行する。

附 則

この改正学則は平成5年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第43条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は平成5年9月1日から施行する。

附 則

この改正学則は平成6年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第43条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は平成6年11月1日から施行する。

附 則

この改正学則は平成7年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第45条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は平成8年4月1日から施行する。
ただし、この改正前に入学した学生は、第8条、第9条、第37条、第45条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は平成8年10月1日から施行する。

附 則

この改正学則は平成9年4月1日から施行する。
ただし、この改正前に入学した学生は、第45条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は平成10年4月1日から施行する。
ただし、この改正前に入学した学生は、第47条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は平成11年4月1日から施行する。
ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第10条第1項、第11条、第12条、第39条、第47条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は平成12年4月1日から施行する。
ただし、この改正前に入学した学生は、第2条、第8条、第9条、第10条、第11条、第12条、第39条、第47条については従前の規定による。
なお、第2条の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学部・学科等	入 学 定 員				
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
社 会 学 部					
国 際 社 会 学 科	160名	155名	150名	145名	140名
ビジネス コミュニケーション学科	160名	155名	150名	145名	140名
計	320名	310名	300名	290名	280名

附 則

この改正学則は平成13年4月1日から施行する。
ただし、この改正前に入学した学生は、第2条、第8条、第9条、第10条、第11条、第12条、第40条、第48条については従前の規定による。
また、平成11・12年度看護学科に入学した学生は、第10条第1項の別表Ⅱ－(1)については改正学則を適用する。平成12年度作業療法学科に入学した学生は、第10条第3項の別表Ⅱ－(3)及び第40条については改正学則を適用する。
なお、第2条の規定にかかわらず、平成13年度から平成16年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学部・学科等	入 学 定 員			
	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
社 会 学 部				
国 際 社 会 学 科	120名	115名	110名	105名
ビジネス コミュニケーション学科	130名	125名	120名	115名
計	250名	240名	230名	220名

附 則

この改正学則は平成13年10月1日から施行する。

附 則

この改正学則は平成14年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第2条、第8条、第11条、第12条、第40条、第41条、第48条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は平成15年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第11条、第12条、第40条については従前の規定による。

また、平成13・14年度精神保健福祉学科及び福祉ボランティア学科に入学した学生は、第11条第3項の別表Ⅲ－(3)並びに第5項の別表Ⅲ－(5)については改正学則を適用する。

なお、第2条の規定にかかわらず、平成15年度から平成18年度までの間の収容定員は次のとおりとする。

学部・学科等	収 容 定 員			
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
社 会 学 部				
国 際 社 会 学 科	485名	390名	335名	285名
ビジネス コミュニケーション学科	515名	430名	375名	325名

附 則

この改正学則は平成16年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第8条、第9条、第11条、第13条については従前の規定による。

また、平成13・14・15年度文化財修復国際協力学科に入学した学生は、第9条第3項の別表Ⅰ－(3)については改正学則を適用する。

なお、第2条の規定にかかわらず、平成16年度から平成18年度までの間の収容定員は次のとおりとする。

学部・学科等	収 容 定 員		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度
社 会 学 部			
国 際 社 会 学 科	385名	325名	270名
ビジネス コミュニケーション学科	415名	345名	280名

附 則

この改正学則は平成17年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第8条、第9条、第13条、第14条、第41条については従前の規定による。

また、平成13・14・15・16年度国際社会学科及びビジネス コミュニケーション学科に入学した学生は、第9条に規定する科目のうち、次の科目については履修できるものとする。

学 科 名	授業科目	単位数		授業科目	単位数	
		必修	選択		必修	選択
国 際 社 会 学 科	社会調査法Ⅲ		2	社会調査統計学Ⅱ		2
	社会調査統計学Ⅰ		2	社会調査実習		4
ビジネス コミュニケーション学科	社会調査法Ⅲ		2	社会調査統計学Ⅱ		2
	社会調査統計学Ⅰ		2	社会調査実習		4

なお、第2条の規定にかかわらず、平成17年度から平成19年度までの間の収容定員は次のとおりとする。

学部・学科等	収 容 定 員		
	平成17年度	平成18年度	平成19年度
社 会 学 部			
国 際 社 会 学 科	315名	250名	230名
ビジネス コミュニケーション学科	335名	260名	230名
文化財修復国際協力量科	230名	220名	210名
社 会 福 祉 学 部			
精 神 保 健 福 祉 学 科	310名	300名	290名
福 祉 ボ ラ ン テ ィ ア 学 科	310名	300名	290名

附 則

この改正学則は平成18年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第2条、第8条、第9条、第11条、第13条、第15条、第42条、第43条、第50条については従前の規定による。

また、平成17年度国際社会学科、ビジネス コミュニケーション学科、文化財修復国際協力量科及びスポーツ社会学科に入学した学生は、第9条第3項の別表Ⅰ-(3)並びに第15条の別表Ⅰ-(7)については改正学則を適用する。

附 則

この改正学則は平成19年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第2条、第8条、第9条、第11条、第15条、第16条、第43条、第44条、第51条については従前の規定による。

また、この改正前に入学した社会学部文化財修復国際協力量科の学生において、博物館学芸員の資格を得ようとする者は、なお、従前の規定による。

附 則

この改正学則は平成20年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第2条、第8条、第12条、第15条、第44条、第45条、第52条については従前の規定による。

また、平成17・18・19年度に社会学部に入学した学生は、第8条、第17条の別表Ⅰ-(6)については改正学則を適用する。

附 則

この改正学則は平成21年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第1条、第2条、第8条、第9条、第10条、第11条、第12条、第13条、第14条、第15条、第16条、第40条、第44条、第45条、第52条については従前の規定による。

また、平成19・20年度文化財学部文化財修復国際協力量科に入学した学生は、第14条の別表Ⅳ-(1)については改正学則を適用する。

附 則

この改正学則は平成21年7月1日から施行する。

附 則

この改正学則は平成22年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第2条、第10条、第11条、第15条、第44条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は平成23年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第1条、第2条、第8条、第10条、第11条、第12条、第13条、第14条、第15条、第44条、第45条、第52条、第55条、第71条については従前の規定による。

〈社会学部〉

別表Ⅰ－(1) 国際社会学科

(教養科目)

1 教養科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野		授 業 科 目	単位数		授業科目 区分, 分野	授 業 科 目	単位数		
			必修	選択			必修	選択	
教養科目	言語教育	英語Ⅰ		2	総合科目 A群	世界の中の日本	2		
		英語Ⅱ		2		備中高梁に学ぶ	2		
		英語Ⅲ		2		キャリア開発Ⅰ	2		
		英語Ⅳ		2		キャリア開発Ⅱ		2	
		フランス語Ⅰ		2	総合科目B群	自然界と人間	宇宙の物理		2
		フランス語Ⅱ		2			生物の科学		2
		フランス語Ⅲ		2			生活の中の化学		2
		フランス語Ⅳ		2			生命と環境		2
		ドイツ語Ⅰ		2		世界と人間	哲学への招待		2
		ドイツ語Ⅱ		2			歴史と社会		2
		ドイツ語Ⅲ		2			多文化理解		2
		ドイツ語Ⅳ		2			宗教と人間		2
		中国語Ⅰ		2		社会と人間	人と心の世界		2
		中国語Ⅱ		2			法律と社会		2
		中国語Ⅲ		2			日本国憲法		2
		中国語Ⅳ		2			民法		2
		日本語Ⅰ春		2			社会と人間		2
		日本語Ⅰ秋		2			経済と生活		2
		日本語Ⅱ春		2			統計と確率		2
		日本語Ⅱ秋		2			統計と社会		2
		応用日本語Ⅰ春		2	人と環境			2	
		応用日本語Ⅰ秋		2	人権と政治			2	
		応用日本語Ⅱ春		2	ゆたかな人間性		文章表現入門		2
		応用日本語Ⅱ秋		2			文学への招待		2
		日本語研究Ⅰ春		2		美術の見方		2	
		日本語研究Ⅰ秋		2		音楽のたのしみ		2	
		日本語研究Ⅱ春		2	生涯スポーツ論		2		
		日本語研究Ⅱ秋		2	生涯スポーツ実習		1		
情教 報育	情報処理Ⅰ	2							
	情報処理Ⅱ	2							

*外国人留学生のための科目として、日本語関連科目を開講する。

(専門教育科目)

2 専門教育科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野		授 業 科 目	単位数		授 業 科 目	単位数	
			必修	選択		必修	選択
学部共通専門科目	学部専門基礎	基礎社会学	2		経営社会学		2
		理論社会学		2	家族社会学		2
		国際社会学	2		健康社会学		2
		産業社会学		2	都市と農村の社会学		2
		スポーツ社会学		2	社会人口学		2
		文化社会学		2	社会学史		2
		政治社会学		2	ジェンダー研究		2
		経済社会学		2			
	関連科目 社会調査士	社会調査法Ⅰ		2	社会調査統計学Ⅱ		2
		社会調査法Ⅱ		2	地域社会分析		2
		社会調査法Ⅲ		2	社会調査実習		4
		社会調査統計学Ⅰ		2			
	学科専門科目	グローバリゼーション論	グローバリゼーションの社会学A		2	国際比較経営論	
グローバリゼーションの社会学B				2	国際関係論		2
国際政治論				2	国際経済論		2
多様な文化の		国際文化研究A		2	文化人類学		2
		国際文化研究B		2	社会人類学		2
		日本文化史		2			
国際情勢		地域研究A		2	地域研究E		2
		地域研究B		2	地域研究F		2
		地域研究C		2	国際関係史		2
		地域研究D		2	近代東アジア史		2
異文化コミュニケーション		実践英語A		2	実践韓国語C		2
		実践英語B		2	実践中国語A		2
		実践韓国語A		2	実践中国語B		2
		実践韓国語B		2	Communicative English		2
教員免許取得に関する科目		日本史Ⅰ		2	地理学概論Ⅱ		2
		日本史Ⅱ		2	地誌学Ⅰ		2
	東洋史Ⅰ		2	地誌学Ⅱ		2	
	東洋史Ⅱ		2	社会科・地歴科教育法Ⅰ		2	
	西洋史Ⅰ		2	社会科・地歴科教育法Ⅱ		2	
	西洋史Ⅱ		2	社会科・公民科教育法Ⅰ		2	
	地理学概論Ⅰ		2	社会科・公民科教育法Ⅱ		2	
卒業論文 演習・	基礎演習Ⅰ	2		演習Ⅳ	2		
	基礎演習Ⅱ	2		演習Ⅴ	2		
	演習Ⅰ	2		演習Ⅵ	2		
	演習Ⅱ	2		卒業論文	4		
	演習Ⅲ	2					

別表Ⅰ－(2) ビジネス コミュニケーション学科

(教養科目)

1 教養科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野		授 業 科 目	単 位 数		授業科目 区分, 分野		授 業 科 目	単 位 数					
			必修	選択				必修	選択				
教養科目	言語教育	英語Ⅰ		2	総合科目 A群		世界の中の日本	2					
		英語Ⅱ		2			備中高梁に学ぶ	2					
		英語Ⅲ		2			キャリア開発Ⅰ	2					
		英語Ⅳ		2			キャリア開発Ⅱ		2				
				フランス語Ⅰ		2	自然界と人間		宇宙の物理		2		
				フランス語Ⅱ		2			生物の科学		2		
				フランス語Ⅲ		2			生活の中の化学		2		
				フランス語Ⅳ		2			生命と環境		2		
				ドイツ語Ⅰ		2	世界と人間		哲学への招待		2		
				ドイツ語Ⅱ		2			歴史と社会		2		
				ドイツ語Ⅲ		2			多文化理解		2		
				ドイツ語Ⅳ		2			宗教と人間		2		
				中国語Ⅰ		2	総合科目B群		人と心の世界		2		
				中国語Ⅱ		2			社会と人間		法律と社会		2
				中国語Ⅲ		2					日本国憲法		2
				中国語Ⅳ		2					民法		2
				日本語Ⅰ春		2					社会と人間		2
				日本語Ⅰ秋		2			経済と生活		2		
				日本語Ⅱ春		2			統計と確率		2		
				日本語Ⅱ秋		2			統計と社会		2		
				応用日本語Ⅰ春		2			人と環境		2		
				応用日本語Ⅰ秋		2			人権と政治		2		
				応用日本語Ⅱ春		2			ゆたかな人間性		文章表現入門		2
				応用日本語Ⅱ秋		2					文学への招待		2
				日本語研究Ⅰ春		2					美術の見方		2
				日本語研究Ⅰ秋		2					音楽のたのしみ		2
				日本語研究Ⅱ春		2			生涯スポーツ論		2		
				日本語研究Ⅱ秋		2			生涯スポーツ実習		1		
		情教 報育		情報処理Ⅰ	2								
				情報処理Ⅱ	2								

*外国人留学生のための科目として、日本語関連科目を開講する。

(専門教育科目)

2 専門教育科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野	授 業 科 目	単位数		授業科目	単位数		
		必修	選択		必修	選択	
学部共通専門科目	学部専門基礎	基礎社会学	2		経営社会学		2
		理論社会学		2	家族社会学		2
		国際社会学		2	健康社会学		2
		産業社会学	2		都市と農村の社会学		2
		スポーツ社会学		2	社会人口学		2
		文化社会学		2	社会学史		2
		政治社会学		2	ジェンダー研究		2
		経済社会学		2			
	社会調査士 関連科目	社会調査法Ⅰ		2	社会調査統計学Ⅱ		2
		社会調査法Ⅱ		2	地域社会分析		2
		社会調査法Ⅲ		2	社会調査実習		4
		社会調査統計学Ⅰ		2			
	学科専門科目	ビジネスマネジメント科目群	集団とマネジメント		2	サービス社会学	
経営学				2	人と仕事の社会学		2
国際経営と地域研究				2	日本における近代産業の展開		2
ベンチャービジネスと経済				2	地域文化施設のマネジメント		2
経営管理論				2	会社の基礎知識		2
経営戦略論				2	財務諸表入門		2
マーケティング				2	個人商店の会計		2
人間関係と経営の歴史				2	株式会社の会計(工業簿記)		2
マネジメントサイエンス				2	株式会社の会計(商業簿記)		2
貿易実務Ⅰ				2	原価計算演習		2
貿易実務Ⅱ				2			
コミュニケーションデザイン科目群		地域デザイン論		2	社会教育学		2
		人と地域の社会学		2	社会経済と宗教		2
		クオリティ・ライフ		2	地域づくりイベント戦略		2
		ヒューマン・デザイン		2	わが国における交通網の発展と生活		2
		福祉情報社会論		2	写真とコミュニケーションⅠ		2
		メディア・コミュニケーション		2	写真とコミュニケーションⅡ		2
		言語とコミュニケーション		2	国際ビジネス基礎		2
		データコミュニケーション論		2	国際ビジネス演習		2
		対人コミュニケーション論		2	貿易英語Ⅰ		2
		消費と大衆文化史		2	貿易英語Ⅱ		2
		社会システム論		2			
		教員免許取得に関する科目	日本史Ⅰ		2	地理学概論Ⅱ	
日本史Ⅱ			2	地誌学Ⅰ		2	
東洋史Ⅰ			2	地誌学Ⅱ		2	
東洋史Ⅱ			2	社会科・地歴科教育法Ⅰ		2	
西洋史Ⅰ			2	社会科・地歴科教育法Ⅱ		2	
西洋史Ⅱ			2	社会科・公民科教育法Ⅰ		2	
地理学概論Ⅰ			2	社会科・公民科教育法Ⅱ		2	

卒業論文 演習・	基礎演習Ⅰ	2	演習Ⅳ	2
	基礎演習Ⅱ	2	演習Ⅴ	2
	演習Ⅰ	2	演習Ⅵ	2
	演習Ⅱ	2	卒業論文	4
	演習Ⅲ	2		

別表Ⅰ－(3) スポーツ社会学科

(教養科目)

1 教養科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野		授 業 科 目	単位数		授業科目 区分, 分野		授 業 科 目	単位数	
			必修	選択				必修	選択
教養科目	言語教育	英語Ⅰ		2	総合科目 A群	世界の中の日本		2	
		英語Ⅱ		2		備中高梁に学ぶ		2	
		英語Ⅲ		2		キャリア開発Ⅰ		2	
		英語Ⅳ		2		キャリア開発Ⅱ		2	
		フランス語Ⅰ		2	自然界と人間	宇宙の物理		2	
		フランス語Ⅱ		2		生物の科学		2	
		フランス語Ⅲ		2		生活の中の化学		2	
		フランス語Ⅳ		2		生命と環境		2	
		ドイツ語Ⅰ		2	世界と人間	哲学への招待		2	
		ドイツ語Ⅱ		2		歴史と社会		2	
		ドイツ語Ⅲ		2		多文化理解		2	
		ドイツ語Ⅳ		2		宗教と人間		2	
		中国語Ⅰ		2	総合科目B群	人と心の世界		2	
		中国語Ⅱ		2		社会と人間	法律と社会		2
		中国語Ⅲ		2			日本国憲法		2
		中国語Ⅳ		2			民法		2
		日本語Ⅰ春		2			社会と人間		2
		日本語Ⅰ秋		2		経済と生活		2	
		日本語Ⅱ春		2		統計と確率		2	
		日本語Ⅱ秋		2		統計と社会		2	
		応用日本語Ⅰ春		2		人と環境		2	
		応用日本語Ⅰ秋		2		人権と政治		2	
		応用日本語Ⅱ春		2		ゆたかな人間性	文章表現入門		2
		応用日本語Ⅱ秋		2			文学への招待		2
		日本語研究Ⅰ春		2			美術の見方		2
		日本語研究Ⅰ秋		2			音楽のたのしみ		2
		日本語研究Ⅱ春		2		生涯スポーツ論		2	
日本語研究Ⅱ秋		2	生涯スポーツ実習			1			
情教 報育	情報処理Ⅰ	2							
	情報処理Ⅱ	2							

*外国人留学生のための科目として、日本語関連科目を開講する。

(専門教育科目)

2 専門教育科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野	授 業 科 目	単位数		授業科目	単位数		
		必修	選択		必修	選択	
学部共通専門科目	学部専門基礎	基礎社会学	2		経営社会学		2
		理論社会学		2	家族社会学		2
		国際社会学		2	健康社会学		2
		産業社会学		2	都市と農村の社会学		2
		スポーツ社会学		2	社会人口学		2
		文化社会学		2	社会学史		2
		政治社会学		2	ジェンダー研究		2
		経済社会学		2			
	社会調査士 関連科目	社会調査法Ⅰ		2	社会調査統計学Ⅱ		2
		社会調査法Ⅱ		2	地域社会分析		2
		社会調査法Ⅲ		2	社会調査実習		4
		社会調査統計学Ⅰ		2			
	専門教育科目	スポーツマネジメント	スポーツ経営学		2	体育・スポーツ行政論	
スポーツ社会システム論				2	地域スポーツ経営論		2
スポーツ組織論				2	コミュニティースポーツ論		2
スポーツビジネス論				2	プロチームマネジメント論		2
スポーツ産業論				2	チームマネジメント実習		2
スポーツリーダーシップ論				2	スポーツボランティア実習		2
スポーツマネジメント論				2	地域スポーツ指導実習		2
社会スポーツ概論				2			
サッカーコーチング		サッカー技術論		2	メンタルトレーニング		2
		サッカー戦術論		2	スポーツカウンセリング		2
		サッカー体力論		2	サッカーコーチング論		2
		サッカーゲーム分析論		2	サッカーコーチング実習		2
		ゲームプランニング論		2	C級コーチライセンス		2
		サッカー審判論		2	D級コーチライセンス		2
		コーチング基礎論		2	スポーツトレーナー実務		2
		応用コーチング論		2	スポーツリハビリテーション論		2
健康スポーツ		体力学		2	スポーツ医学Ⅱ		2
		体力学演習Ⅰ		2	応用スポーツ論		2
		体力学演習Ⅱ		2	応用スポーツ実習		1
		運動処方		2	健康運動実習Ⅰ		2
		運動処方演習Ⅰ		2	健康運動実習Ⅱ		2
		運動処方演習Ⅱ		2	健康運動現場実習		2
		身体運動学		2	運動療法		2
		スポーツ医学Ⅰ		2	老年体力学		2
総合		スポーツ哲学		2	リハビリテーション医学		2
		スポーツ史		2	内科学一般		2
		スポーツトレーニング論		2	東洋医学概論		2
		トレーニング実習		2	経絡鍼灸学		2
		スポーツ実習Ⅰ(体操)		2	発育発達		2
		スポーツ実習Ⅱ(器械運動)		2	応急処置		2
		スポーツ実習Ⅲ(サッカー)		2	運動生理学Ⅰ		2
		スポーツ実習Ⅳ(テニス)		2	運動生理学Ⅱ		2

専門教育科目	総合	スポーツ実習Ⅴ (バレー)		2	運動生理学演習Ⅰ		2
		スポーツ実習Ⅵ (マリン)		2	運動生理学演習Ⅱ		2
		スポーツ心理学		2	レクリエーション		2
		運動学		2	社会福祉学概論		2
		運動方法学		2	社会福祉学特論		2
		学校保健		2	介護概論		2
		衛生・公衆衛生		2	介護技術演習Ⅰ		2
		幼児体育		2	介護技術演習Ⅱ		2
		解剖学Ⅰ		2	介護実習		1
		解剖学Ⅱ		2	保健体育科教育法Ⅰ		2
		生理学Ⅰ		2	保健体育科教育法Ⅱ		2
		生理学Ⅱ		2	保健体育科教育法Ⅲ		2
		運動栄養学		2	保健体育科教育法Ⅳ		2
		卒業論文 演習・	基礎演習Ⅰ	2		演習Ⅳ	2
基礎演習Ⅱ	2			演習Ⅴ	2		
演習Ⅰ	2			演習Ⅵ	2		
演習Ⅱ	2			卒業論文	4		
演習Ⅲ	2						

別表Ⅰ－(4)

(教職に関する科目)

1 教職に関する科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

学部の名称	学科の名称	授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
社会学部	国際社会学科	教職論	2	教育の方法と技術	2
		教育原論	2	生徒・進路指導論	2
		教育心理学	2	教育相談の基礎	2
		教育行政学	2	教職総合演習	2
		教育課程論	1	介護等体験の研究	1
		道德教育の理論と方法	2	教育実習指導	2
		特別活動の理論と方法	2	教育実習	4
		教職実践演習 (中・高)	2		
	ケージンコミュニケーション学科	教職論	2	教育の方法と技術	2
		教育原論	2	生徒・進路指導論	2
		教育心理学	2	教育相談の基礎	2
		教育行政学	2	教職総合演習	2
		教育課程論	1	介護等体験の研究	1
		道德教育の理論と方法	2	教育実習指導	2
		特別活動の理論と方法	2	教育実習	4
		教職実践演習 (中・高)	2		
	スポーツ社会学科	教職論	2	教育の方法と技術	2
		教育原論	2	生徒・進路指導論	2
		教育心理学	2	教育相談の基礎	2
		教育行政学	2	教職総合演習	2
		教育課程論	2	介護等体験の研究	1
		道德教育の理論と方法	2	教育実習指導	2
		特別活動の理論と方法	2	教育実習	4
		教職実践演習 (中・高)	2		

別表 I - (5)

(社会教育主事に関する科目)

1 社会教育主事に関する科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

学部の名称	学科の名称	授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
社会 学部	国際 社会 学科	社会教育学	2	生涯学習・社会教育理論の検討Ⅱ	2
		生涯学習概論	2	社会教育計画Ⅰ	2
		現代社会と社会教育Ⅰ	2	社会教育計画Ⅱ	2
		現代社会と社会教育Ⅱ	2	社会教育演習Ⅰ	2
		生涯学習・社会教育理論の検討Ⅰ	2	社会教育演習Ⅱ	2
	ビジ ネ ス コ ミュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	生涯学習概論	2	社会教育計画Ⅰ	2
		現代社会と社会教育Ⅰ	2	社会教育計画Ⅱ	2
		現代社会と社会教育Ⅱ	2	社会教育演習Ⅰ	2
		生涯学習・社会教育理論の検討Ⅰ	2	社会教育演習Ⅱ	2
		生涯学習・社会教育理論の検討Ⅱ	2		
	ス ポ ー ツ 社 会 学 科	社会教育学	2	生涯学習・社会教育理論の検討Ⅰ	2
		生涯学習概論	2	生涯学習・社会教育理論の検討Ⅱ	2
		現代社会と社会教育Ⅰ	2	社会教育計画Ⅰ	2
		現代社会と社会教育Ⅱ	2	社会教育計画Ⅱ	2

別表 I - (6)

(日本語教員養成に関する科目)

1 日本語教員養成に関する科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

学部の名称	学科の名称	授 業 科 目	単位数
社 会 学 部	国際社会学科	日本語教育実習	1
		日本語教材の研究	2
	ビジ ネ ス コ ミュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	日本語教育実習	1
		日本語教材の研究	2
	ス ポ ー ツ 社 会 学 科	日本語教育実習	1
		日本語教材の研究	2

〈保健医療福祉学部〉

別表Ⅱ－(1) 看護学科

(教養科目)

1 教養科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野		授 業 科 目	単位数		区分 分野	授 業 科 目	単位数	
			必修	選択			必修	選択
教養科目	言語教育科目	英語Ⅰ		2	自然界と人間	医療系の化学		2
		英語Ⅱ		2		生命と環境		2
		英語Ⅲ		2		医療系の生命と環境		2
		英語Ⅳ		2		医療系の数学		2
		フランス語Ⅰ		2	世界と人間	哲学への招待		2
		フランス語Ⅱ		2		歴史と社会		2
		フランス語Ⅲ		2		多文化理解		2
		フランス語Ⅳ		2		宗教と人間		2
		ドイツ語Ⅰ		2		人と心の世界		2
		ドイツ語Ⅱ		2		医療系の心理学		2
		ドイツ語Ⅲ		2	社会と人間	法律と社会		2
		ドイツ語Ⅳ		2		日本国憲法		2
		中国語Ⅰ		2		民法		2
		中国語Ⅱ		2		社会と人間		2
		中国語Ⅲ		2		経済と生活		2
		中国語Ⅳ		2		統計と確率		2
	情報	情報処理Ⅰ		2		統計と社会		2
		情報処理Ⅱ		2		人と環境		2
	総合科目A群	世界の中の日本	2		人権と政治		2	
		備中高梁に学ぶ	2		ゆたかな人間性	文章表現入門		2
		キャリア開発Ⅰ		2		文学への招待		2
		キャリア開発Ⅱ		2		美術の見方		2
	総合科目B群	自然界と人間	宇宙の物理			2	音楽のたのしみ	
			医療系の物理		2	生涯スポーツ論		2
		生物の科学		2	生涯スポーツ実習		1	
		医療系の生物学		2				
		生活の中の化学		2				

(専門教育科目)

2 専門教育科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野	授 業 科 目	単位数		区分 分野	授 業 科 目	単位数		
		必修	選択			必修	選択	
専門教育科目	専門基礎科目	解剖学Ⅰ	1		母性看護学	母性看護学概論	1	
		解剖学Ⅱ	1			母性看護Ⅰ	1	
		生理学Ⅰ	1			母性看護Ⅱ	2	
		生理学Ⅱ	1			母性看護実習	2	
		生化学	2		精神看護学	精神看護学概論	1	
		栄養学	2			精神看護Ⅰ	1	
		薬理学	2			精神看護Ⅱ	1	
		病理学	2			精神看護Ⅲ	1	
		微生物学Ⅰ	1			精神看護実習	2	
		微生物学Ⅱ	1			統合看護	看護管理論	1
		疫学	2		家族看護		1	
		公衆衛生学Ⅰ	2		統合看護演習		1	
		公衆衛生学Ⅱ	2		統合実習		2	
		保健医療福祉概論	2		地域・在宅看護学	在宅看護学概論	1	
		リハビリテーション論	1			在宅看護援助論	2	
		障害と福祉Ⅰ	1			健康管理論Ⅰ	1	
		障害と福祉Ⅱ		1		健康管理論Ⅱ	1	
		医療情報処理基礎演習Ⅰ	1			保健福祉行政論Ⅰ	1	
	医療情報処理基礎演習Ⅱ	1		保健福祉行政論Ⅱ		1		
	基礎看護学	看護学概論	2			地域看護学概論	2	
		看護方法論	1			地域看護Ⅰ	2	
		生活援助論Ⅰ	1			地域看護Ⅱ	2	
		生活援助論Ⅱ	1			地域看護Ⅲ	2	
		生活援助論Ⅲ	1		地域看護Ⅳ	1		
		生活援助論Ⅳ	1		産業衛生管理論		1	
		生活援助論Ⅴ	1		地域看護実習Ⅰ	2		
		生活援助論Ⅵ	1		地域看護実習Ⅱ	3		
		臨床看護総論	1		学校保健学		2	
		基礎看護実習	3		養護学概論		2	
	成人看護学	成人看護学概論	1		研究	健康相談活動論		2
		成人看護Ⅰ	1			看護研究Ⅰ	1	
		成人看護Ⅱ	1		看護研究Ⅱ		1	
		成人看護Ⅲ	1		教育	教職論		2
		成人看護Ⅳ	1			教育原論		2
		成人看護Ⅴ	1			教育心理学		2
		成人看護Ⅵ	1			教育相談の基礎		2
		成人看護Ⅶ	1			教育行政学		2
	成人看護実習	6		教育課程論			1	
	老年看護学	老年看護学概論	1		看護教育法Ⅰ		2	
		老年看護Ⅰ	1		看護教育法Ⅱ		2	
		老年看護Ⅱ	2		道德教育の理論と方法		2	
		老年看護実習	4		特別活動の理論と方法		2	

専門教育科目	小児看護学	小児看護学概論	1		教育	教育の方法と技術		2
		小児看護Ⅰ	1			生徒・進路指導論		2
		小児看護Ⅱ	1			教職総合演習		2
		小児看護Ⅲ	1			教育実習指導		1
		小児看護実習	2			教育実習		2
						養護実習指導		1
						養護実習		4
						教職実践演習（高校）		2
						教職実践演習（養護教諭）		2

別表Ⅱ－(2) 理学療法学科
(教養科目)

1 教養科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野		授 業 科 目	単位数		区分 分野	授 業 科 目	単位数		
			必修	選択			必修	選択	
教養科目	言語教育科目	英語Ⅰ		2	自然界と人間	医療系の化学		2	
		英語Ⅱ		2		生命と環境		2	
		英語Ⅲ		2		医療系の生命と環境		2	
		英語Ⅳ		2		医療系の数学		2	
		フランス語Ⅰ		2	総合科目B群	世界と人間	哲学への招待		2
		フランス語Ⅱ		2			歴史と社会		2
		フランス語Ⅲ		2			多文化理解		2
		フランス語Ⅳ		2			宗教と人間		2
		ドイツ語Ⅰ		2			人と心の世界		2
		ドイツ語Ⅱ		2			医療系の心理学		2
		ドイツ語Ⅲ		2	社会と人間	法律と社会		2	
		ドイツ語Ⅳ		2		日本国憲法		2	
		中国語Ⅰ		2		民法		2	
		中国語Ⅱ		2		社会と人間		2	
	中国語Ⅲ		2	経済と生活			2		
	中国語Ⅳ		2	統計と確率			2		
	情報	情報処理Ⅰ		2		統計と社会		2	
		情報処理Ⅱ		2		人と環境		2	
	総合科目A群	世界の中の日本	2		ゆたかな人間性	人権と政治		2	
		備中高梁に学ぶ	2			文章表現入門		2	
		キャリア開発Ⅰ		2		文学への招待		2	
		キャリア開発Ⅱ		2		美術の見方		2	
	総合科目B群	自然界と人間	宇宙の物理			2	音楽のたのしみ		2
			医療系の物理			2	生涯スポーツ論		2
			生物の科学			2	生涯スポーツ実習		1
			医療系の生物学			2			
生活の中の化学				2					

(専門教育科目)

2 専門教育科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野	授 業 科 目	単位数		区分 分野	授 業 科 目	単位数			
		必修	選択			必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目	解剖学	2		評価学 理学療法	評価学概論	2		
		解剖学特論	1			評価学実習	1		
		解剖学実習	2			検査・測定論	1		
		生理学	2			理学療法研究法	1		
		生理学特論	1			理学療法研究法演習	1		
		生理学実習	1			理学療法 治療学	物理療法学	2	
		病理学概論	1				物理療法学実習	1	
		臨床心理学	1		運動療法学総論		1		
		人間発達学		1	運動系理学療法学		1		
		運動発達学	1		運動系理学療法学実習		1		
		リハビリテーション概論	1		神経系理学療法学		1		
		リハビリテーション医学	1		神経系理学療法学実習		2		
		内科学	2		循環呼吸系理学療法学		1		
		老年学		2	循環呼吸系理学療法学実習		2		
		整形外科学	2		生活技術学		1		
		臨床神経学	2		生活技術学実習		1		
		小児科学	1		リハビリテーション工学			1	
	一般臨床医学	1		義肢装具学	1				
	精神医学 I	2		義肢装具学実習	1				
	薬理学		2	理学療法技術論	1				
	公衆衛生学		1	理学療法技術実習	2				
	保健医療福祉概論	2		スポーツ障害	1				
	救急法及び消毒		2	療法学 地域理学	生活環境学	1			
	栄養学		1		レクリエーション理論	2			
	行動生物学		1		レクリエーション実技	2			
	生物学特論		1		老年期障害学演習	1			
	情報管理学		2		地域理学療法学	2			
	臨床データ解析演習		2	実習 臨床	臨床指導	1			
	医学英語	1			臨床評価実習	4			
	基礎理学療法学	理学療法学	2		総合臨床実習	16			
		運動学 I	1						
		運動学 II	1						
		身体運動学実習	1						
臨床理学療法学		1							
管理運営学			1						
理学療法総合演習		1							
卒業論文指導		1							
卒業論文		1							

別表Ⅱ－(3) 作業療法学科

(教養科目)

1 教養科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野		授 業 科 目	単位数		区分 分野	授 業 科 目	単位数		
			必修	選択			必修	選択	
教養科目	言語教育科目	英語Ⅰ		2	自然界と人間	医療系の化学		2	
		英語Ⅱ		2		生命と環境		2	
		英語Ⅲ		2		医療系の生命と環境		2	
		英語Ⅳ		2		医療系の数学		2	
		フランス語Ⅰ		2	世界と人間	哲学への招待		2	
		フランス語Ⅱ		2		歴史と社会		2	
		フランス語Ⅲ		2		多文化理解		2	
		フランス語Ⅳ		2		宗教と人間		2	
		ドイツ語Ⅰ		2		人と心の世界		2	
		ドイツ語Ⅱ		2		医療系の心理学		2	
		ドイツ語Ⅲ		2	総合科目B群	法律と社会		2	
		ドイツ語Ⅳ		2		日本国憲法		2	
		中国語Ⅰ		2		民法		2	
		中国語Ⅱ		2		社会と人間		2	
		中国語Ⅲ		2		経済と生活		2	
		中国語Ⅳ		2		統計と確率		2	
	情報	情報処理Ⅰ		2		統計と社会		2	
		情報処理Ⅱ		2		人と環境		2	
	総合科目A群	世界の中の日本	2			人権と政治		2	
		備中高梁に学ぶ	2			ゆたかな人間性	文章表現入門		2
		キャリア開発Ⅰ		2	文学への招待			2	
		キャリア開発Ⅱ		2	美術の見方			2	
	総合科目B群	自然界と人間	宇宙の物理		2		音楽のたのしみ		2
			医療系の物理		2		生涯スポーツ論		2
			生物の科学		2	生涯スポーツ実習		1	
			医療系の生物学		2				
			生活の中の化学		2				

(専門教育科目)

2 専門教育科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野	授 業 科 目	単位数		区分 分野	授 業 科 目	単位数		
		必修	選択			必修	選択	
専 門 教 育 科 目	専 門 基 礎 科 目	解剖学	2		作 業 治 療 学	身体障害作業療法学Ⅰ	2	
		解剖学特論	1			身体障害作業療法学Ⅱ	1	
		解剖学実習	2			高次脳機能障害	1	
		生理学	2			精神障害作業療法学	1	
		生理学特論	1			精神障害作業療法学演習	1	
		生理学実習	1			精神障害作業療法学実習	1	
		病理学概論	1			発達障害作業療法学	1	
		臨床心理学	1			発達障害作業療法学実習	1	
		人間発達学	1			老年期障害作業療法学	1	
		リハビリテーション概論	1			老年期障害学演習	1	
		リハビリテーション医学	1			地域作業療法学特論	1	
	基 礎 科 目	内科学	2		作 業 療 法 技 術 学	作業科学Ⅱ	1	
		整形外科学	2			義肢装具学	1	
		臨床神経学	2			リハビリテーション工学		1
		小児科学	1			生活技術学	2	
		一般臨床医学	1			職能技術学	1	
		精神医学Ⅰ	2			作業療法技術演習Ⅰ	1	
		精神医学Ⅱ	1			作業療法技術演習Ⅱ	1	
		運動発達学	1		総 合	作業療法学研究法	1	
		公衆衛生学		1		作業療法学研究法演習	1	
		保健医療福祉概論	2			レクリエーション理論		2
		救急法及び消毒		2		レクリエーション実技		2
		薬理学		2		作業療法特論	1	
	老年学		2	生活環境学		1		
	栄養学		1	管理運営学		1		
	行動生物学		1	実 習	作業療法総合演習	1		
	生物学特論		1		総合臨床実習	16		
	情報管理学		2		臨床評価実習	3		
	臨床データ解析演習		2		臨床見学実習	1		
	医学英語	1			医療保健福祉施設体験実習Ⅰ		1	
	基 礎 作 業 学	作業運動学	2			医療保健福祉施設体験実習Ⅱ		1
		作業運動学実習	1			医療保健福祉施設体験実習Ⅲ		1
		作業療法概論	1					
人間と作業		1						
作業科学Ⅰ		1						
基礎作業学		1						
基礎作業実習Ⅰ		1						
基礎作業実習Ⅱ		1						
作業療法評価学		1						
作業療法評価学演習	2							

別表Ⅱ－(4) 社会福祉学科

(教養科目)

1 教養科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野	授 業 科 目	単位数			授業科目 区分, 分野	授 業 科 目	単位数			
		必 修	選 択	自 由			必 修	選 択	自 由	
教養科目	言語教育	英語Ⅰ		2	総合科目 A群	備中高梁に学ぶ		2		
		英語Ⅱ		2		世界の中の日本		2		
		英語Ⅲ		2		キャリア開発Ⅰ		2		
		英語Ⅳ		2		キャリア開発Ⅱ		2		
		フランス語Ⅰ		2	総合科目B群	自然界と人間	宇宙の物理		2	
		フランス語Ⅱ		2			生物の科学		2	
		フランス語Ⅲ		2			生活の中の化学		2	
		フランス語Ⅳ		2			生命と環境		2	
		ドイツ語Ⅰ		2		世界と人間	哲学への招待		2	
		ドイツ語Ⅱ		2			歴史と社会		2	
		ドイツ語Ⅲ		2			多文化理解		2	
		ドイツ語Ⅳ		2			宗教と人間		2	
		中国語Ⅰ		2		社会と人間	人と心の世界		2	
		中国語Ⅱ		2			法律と社会		2	
		中国語Ⅲ		2			日本国憲法		2	
		中国語Ⅳ		2			民法		2	
		日本語Ⅰ春		2			社会と人間		2	
		日本語Ⅰ秋		2			経済と生活		2	
		日本語Ⅱ春		2			統計と確率		2	
		日本語Ⅱ秋		2			統計と社会		2	
		応用日本語Ⅰ春		2	人と環境			2		
		応用日本語Ⅰ秋		2	人権と政治			2		
		応用日本語Ⅱ春		2	ゆたかな人間性		文章表現入門		2	
		応用日本語Ⅱ秋		2			文学への招待		2	
		日本語研究Ⅰ春		2		美術の見方		2		
		日本語研究Ⅰ秋		2		音楽のたのしみ		2		
		日本語研究Ⅱ春		2	生涯スポーツ講義		2			
		日本語研究Ⅱ秋		2	生涯スポーツ実習		1			
		情教 報育	情報処理Ⅰ	2						
			情報処理Ⅱ	2						

(専門教育科目)

2 専門教育科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野	授 業 科 目	単位数			区分 分野	授 業 科 目	単位数			
		必 修	選 択	自 由			必 修	選 択	自 由	
専 門 教 育 科 目	専 門 基 礎 科 目	現代社会と福祉Ⅰ	2		国 際 ・ ボ ラ ン テ ィ ア	比較民族学		2		
		現代社会と福祉Ⅱ	2			災害緊急援助論		2		
		保健医療福祉概論	2			市民社会論Ⅰ		2		
		社会福祉事業史Ⅰ		2		市民社会論Ⅱ		2		
		社会福祉事業史Ⅱ		2		コーディネーター論		2		
		精神保健学Ⅰ		2		国際人道援助計画論		2		
		精神保健学Ⅱ		2		ボランティア活動演習Ⅰ		1		
		精神科リハビリテーション学Ⅰ		2		ボランティア活動演習Ⅱ		1		
		精神科リハビリテーション学Ⅱ		2		NPOマネジメント論		2		
		精神保健福祉論Ⅰ		2		社会開発論		2		
		精神保健福祉論Ⅱ		2		国際ボランティア論		2		
		精神保健福祉論Ⅲ		2		福 祉 ベ ン チ ャ ー	企業法務		2	
		ボランティア論Ⅰ		2			福祉関係法規		2	
		ボランティア論Ⅱ		2			組織・人事管理論		2	
		人体の構造と機能及び疾病		2			マーケティング論		2	
		心理学理論と心理的支援		2			福祉ベンチャー起業論		2	
		社会学理論と社会システム		2			福祉施設経営論		2	
		社会調査の基礎		2			リスクマネジメント論		2	
	東洋医学概論		2	福祉ベンチャー演習			1			
	制 度 ・ 政 策	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ		2	総 合		相談援助実習指導Ⅰ		1	
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ		2			相談援助実習指導Ⅱ		1	
		障害者に対する支援と障害者自立支援制度		2		相談援助実習指導Ⅲ		1		
		児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度		2		相談援助演習Ⅰ		1		
		社会保障Ⅰ		2		相談援助演習Ⅱ		1		
		社会保障Ⅱ		2		相談援助演習Ⅲ		1		
		低所得者に対する支援と生活保護制度		2		相談援助演習Ⅳ		1		
		アドミニストレーション論		2		相談援助演習Ⅴ		1		
		教養福祉論A		2		精神保健福祉援助演習Ⅰ		1		
		教養福祉論B		2		精神保健福祉援助演習Ⅱ		1		
		教養福祉論C		2		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ		1		
		教養福祉論D		2		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		1		
		保健医療サービス		2		精神保健福祉援助実習指導Ⅲ		1		
		就労支援サービス		1		福祉レクリエーション		2		
		更生保護制度		1		社会福祉特論Ⅰ		2		
		権利擁護と成年後見制度		2		社会福祉特論Ⅱ		2		
		方 法 ・ 技 術	相談援助の基盤と専門職Ⅰ			2	国際法Ⅰ		2	
			相談援助の基盤と専門職Ⅱ			2	国際法Ⅱ		2	
	相談援助の理論と方法Ⅰ			2	外書講読Ⅰ		2			
	相談援助の理論と方法Ⅱ			2	外書講読Ⅱ		2			
	相談援助の理論と方法Ⅲ			2	演習Ⅰ	1				
	相談援助の理論と方法Ⅳ			2	演習Ⅱ	1				
	精神医学Ⅰ			2	演習Ⅲ	1				
精神医学Ⅱ			2	演習Ⅳ	1					
精神保健福祉援助技術各論Ⅰ			2	卒業論文Ⅰ	2					
精神保健福祉援助技術各論Ⅱ			2	卒業論文Ⅱ	2					
医療ソーシャルワーク論Ⅰ		2	福祉基礎実習		2					

方法・技術	医療ソーシャルワーク論Ⅱ	2	総合	福祉キャリア演習Ⅰ	1
	ノーマリゼーション論	2		福祉キャリア演習Ⅱ	1
	ケースマネジメント論	2		専門支援演習	1
	介護技術	2		相談援助実習	4
地域・社会	地域福祉の理論と方法Ⅰ	2	実習	精神保健福祉援助実習	4
	地域福祉の理論と方法Ⅱ	2		国際協力実習	2
	国際社会福祉論Ⅰ	2		ボランティア実習	2
	国際社会福祉論Ⅱ	2		インターンシップ	2
	福祉行財政と福祉計画	2			
	福祉サービスの組織と経営	2			

別表Ⅱ－(5)

〈教職に関する科目〉

1 教職に関する科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

学科の名称	授 業 科 目	単位数
社会福祉学科	社会科・公民科教育法Ⅰ	2
	社会科・公民科教育法Ⅱ	2
	教職総合演習	2
	教育実習指導	2
	教育実習	4
	福祉科教育法Ⅰ	2
	福祉科教育法Ⅱ	2
	教育心理学	2
	教育課程論	1
	教育行政学	2
	教育の方法と技術	2
	生徒・進路指導論	2
	特別活動の理論と方法	2
	教職論	2
	教育原論	2
	教育相談の基礎	2
	教職実践演習（高校）	2

〈国際環境経営学部〉

別表Ⅲ－(1) 環境経営学科

(教養科目)

授業科目 区分, 分野	授 業 科 目	単位数		区分 分野	授 業 科 目	単位数			
		必修	選択			必修	選択		
教養科目	言語教育	英語Ⅰ		2	A群	情報処理Ⅰ	2		
		英語Ⅱ		2		情報処理Ⅱ		2	
		英語Ⅲ		2		情報処理Ⅲ		2	
		英語Ⅳ		2		情報処理Ⅳ		2	
		中国語Ⅰ		2		エンカレッジⅠ	2		
		中国語Ⅱ		2		エンカレッジⅡ	2		
		中国語Ⅲ		2		キャリア開発Ⅰ	2		
		中国語Ⅳ		2		キャリア開発Ⅱ	2		
		韓国語Ⅰ		2		日本論		2	
		韓国語Ⅱ		2		国際関係論		2	
		韓国語Ⅲ		2		B群	哲学		2
		韓国語Ⅳ		2			心理学		2
		日本語Ⅰ		2			歴史学		2
		日本語Ⅱ		2			法学		2
		日本語Ⅲ		2	社会学			2	
		日本語Ⅳ		2	経済学			2	
		応用日本語Ⅰ		2	生物学			2	
		応用日本語Ⅱ		2	化学			2	
		応用日本語Ⅲ		2	物理学			2	
		応用日本語Ⅳ		2	生涯スポーツ論			2	
		日本語研究Ⅰ		2	生涯スポーツ実習			1	
		日本語研究Ⅱ		2					
		日本語研究Ⅲ		2					
		日本語研究Ⅳ		2					
		ドイツ語Ⅰ		2					
		ドイツ語Ⅱ		2					
		ドイツ語Ⅲ		2					
		ドイツ語Ⅳ		2					
		フランス語Ⅰ		2					
		フランス語Ⅱ		2					
フランス語Ⅲ		2							
フランス語Ⅳ		2							

〈専門教育科目〉

2 専門教育科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野	授業科目	単位数		区分 分野	授業科目	単位数	
		必修	選択			必修	選択
専 門 共 通 科 目	統計学Ⅰ	2		知的財産経営科目	特許・実用新案法入門		2
	統計学Ⅱ		2		特許法Ⅰ		2
	簿記Ⅰ	2			特許法Ⅱ		2
	簿記Ⅱ		2		特許出願の実務		2
	会計学Ⅰ	2			商標法Ⅰ		2
	会計学Ⅱ		2		商標法Ⅱ		2
	行政法		2		意匠法		2
	民法Ⅰ		2		著作権法		2
	民法Ⅱ		2		インターネットと著作権		2
	商法Ⅰ		2		不正競争防止法		2
	商法Ⅱ		2		民事訴訟法		2
	環境法		2		知的財産戦略		2
	経営学概論		2		知的財産の活用		2
	商学概論		2		外国知的財産に関する条約		2
	教育心理学		2		外国知的財産制度		2
	教育行政学		2				
	社会調査法		2				
	知的財産制度入門	2					
	産業と技術の歴史		2				
	メディア論		2				
	地球環境科学		2	実践ⅠT経営科目	実践プログラミングⅠ		2
	環境社会学		2		実践プログラミングⅡ		2
	環境教育論		2		実践データベース		2
	環境とライフスタイル		2		実践ネットワーク		2
	環境倫理学		2		ソフトウェア開発入門		2
	環境経済学		2		実践ソフトウェア開発Ⅰ		2
	環境経営概論	2			実践ソフトウェア開発Ⅱ		2
					情報環境(セキュリティ)		2
					コミュニケーション能力Ⅰ		2
					コミュニケーション能力Ⅱ		2
				実践経営学Ⅰ		2	
				実践経営学Ⅱ		2	
			自己管理能力Ⅰ		2		
			自己管理能力Ⅱ		2		
			問題解決能力Ⅰ		2		
			問題解決能力Ⅱ		2		
			インターンシップ		2		
			先達に学ぶⅠ	2			
			先達に学ぶⅡ		2		
			討論Ⅰ	2			
			討論Ⅱ		2		
			プレゼンテーションⅠ	2			
			プレゼンテーションⅡ		2		
			外書講読		2		
			国際環境論		2		
			国際協力概論		2		
			環境政策論		2		
			産業政策		2		
			社会政策		2		
			基礎演習Ⅰ	1			
			基礎演習Ⅱ	1			
			基礎演習Ⅲ	1			
環 境 経 営 ・ 食 農 経 営 科 目	環 境 経 営 ・ 食 農 経 営 共 通 科 目	土壌環境論		2	総 合 科 目		
		水質環境論		2			
		自然環境保全論		2			
		循環型社会論		2			
		環境ビジネス論		2			
		環境会計論		2			
		資源と環境		2			
	環 境 経 営 科 目	環境リスク概論		2			
		大気環境論		2			
		環境マネジメントシステム論		2			
		環境リスクと企業経営リスク		2			
		環境モニタリング論		2			
		環境アセスメント論		2			
		化学物質管理		2			
食 農 経 営 科 目	アジア環境論		2				
	ライフサイクルアセスメント		2				
	食農経営概論		2				
	食料政策論		2				
			2				
			2				
			2				
			2				

専門 教育 科目	環境 経営・ 食農 経営 科目	食農 経営 科目	農地地域計画論	2	総合 科目	基礎演習Ⅳ	1
			農業経営・監査論	2		演習Ⅰ	1
			食農フィールド実習（１）	2		演習Ⅱ	1
			食農フィールド実習（２）	2		演習Ⅲ	1
			食農フィールド実習（３）	2		演習Ⅳ	1
			食農フィールド実習（４）	2		卒業論文	4

別表Ⅲ－(2)

(教職関連科目)

1 教職関連科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

学部の名称	学科の名称	授 業 科 目	単位数
国 際 環 境 経 営 学 部	環 境 経 営 学 科	地理学概論Ⅰ	2
		地理学概論Ⅱ	2
		地誌学Ⅰ	2
		地誌学Ⅱ	2
		教職論	2
		教育原論	2
		教育課程論	1
		社会科・地歴科教育法Ⅰ	2
		社会科・地歴科教育法Ⅱ	2
		社会科・公民科教育法Ⅰ	2
		社会科・公民科教育法Ⅱ	2
		道德教育の理論と方法	2
		特別活動の理論と方法	2
		教育の方法と技術	2
		生徒・進路指導論	2
		教育相談の基礎	2
		教職総合演習	2
		教育実習指導	2
		教育実習	4
介護等体験の研究	1		
教職実践演習（中・高）	2		

〈心理学部〉

別表Ⅳ－(1) 心理学科

(教養科目)

1 教養科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野	授 業 科 目	単位数		授業科目 区分, 分野	授 業 科 目	単位数		
		必修	選択			必修	選択	
教養科目	言語教育	英語Ⅰ	2	総合科目 A群	備中高梁に学ぶ	2		
		英語Ⅱ	2		世界の中の日本	2		
		英語Ⅲ	2		キャリア開発Ⅰ	2		
		英語Ⅳ	2		キャリア開発Ⅱ		2	
		フランス語Ⅰ	2	自然界と人間	宇宙の物理		2	
		フランス語Ⅱ	2		生物の科学		2	
		フランス語Ⅲ	2		生活の中の化学		2	
		フランス語Ⅳ	2		生命と環境		2	
		ドイツ語Ⅰ	2	世界と人間	哲学への招待		2	
		ドイツ語Ⅱ	2		歴史と社会		2	
		ドイツ語Ⅲ	2		多文化理解		2	
		ドイツ語Ⅳ	2		宗教と人間		2	
		中国語Ⅰ	2	総合科目B群	人と心の世界		2	
		中国語Ⅱ	2		法律と社会		2	
		中国語Ⅲ	2		日本国憲法		2	
		中国語Ⅳ	2		民法		2	
		日本語Ⅰ春	2		社会と人間	社会と人間		2
		日本語Ⅰ秋	2			経済と生活		2
		日本語Ⅱ春	2			統計と確率		2
		日本語Ⅱ秋	2			統計と社会		2
		応用日本語Ⅰ春	2		ゆたかな人間性	人と環境		2
		応用日本語Ⅰ秋	2			人権と政治		2
		応用日本語Ⅱ春	2			文章表現入門		2
		応用日本語Ⅱ秋	2			文学への招待		2
		日本語研究Ⅰ春	2	美術の見方			2	
		日本語研究Ⅰ秋	2	音楽のたのしみ			2	
		日本語研究Ⅱ春	2	生涯スポーツ論			2	
		日本語研究Ⅱ秋	2	生涯スポーツ実習			1	
情教 報育	情報処理Ⅰ	2						
	情報処理Ⅱ	2						

(専門教育科目)

2 専門教育科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野		授 業 科 目	単位数		区分 分野	授 業 科 目	単位数		
			必修	選択			必修	選択	
専門教育科目	学部 共通 科目	心理学Ⅰ	2		特論領域	心理学史		2	
		心理学Ⅱ	2			健康心理学		2	
		子どもの心理発達		2		産業心理学		2	
	学科専門基礎科目	心理学実験実習Ⅰ	1			人格心理学		2	
		心理学実験実習Ⅱ	1			家族心理学		2	
		心理学研究法Ⅰ	2			コミュニティ心理学		2	
		心理学研究法Ⅱ	2			心理療法		2	
		心理統計Ⅰ	2			高齢者の心理学		2	
		心理統計Ⅱ	2			犯罪心理学		2	
		心理検査法		2		障害児・者の心理学		2	
		心理検査実習Ⅰ		1		学校臨床心理学		2	
		心理検査実習Ⅱ		1		カウンセリング心理学		2	
		医学概論Ⅰ	2			生徒・進路指導論		2	
		医学概論Ⅱ	2			教育の方法と技術		2	
		解剖学		2		教育相談の基礎		2	
		神経解剖学		2		道徳教育の理論と方法		2	
		生理学		2		精神医学		2	
	概論領域	発達心理学		2		臨床神経学		2	
		社会心理学		2		神経診断学		2	
		臨床心理学		2		臨床の倫理		2	
		認知心理学		2		老人福祉論		2	
		生理心理学		2		総合	外書購読Ⅰ		2
		学習心理学		2			外書購読Ⅱ		2
		教育心理学		2			心理学演習Ⅰ	2	
		社会福祉原論		2			心理学演習Ⅱ	2	
				心理学演習Ⅲ			2		
				心理学演習Ⅳ			2		
			社会の中の心理学		2				
			卒業論文	4					

別表Ⅳ－(2) 子ども発達教育学科
(教養科目)

1 教養科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野	授 業 科 目	単位数		授業科目 区分, 分野	授 業 科 目	単位数			
		必修	選択			必修	選択		
教養科目	言語教育	英語Ⅰ	2	総合科目 A群	備中高梁に学ぶ	2			
		英語Ⅱ	2		世界の中の日本	2			
		英語Ⅲ	2		キャリア開発Ⅰ	2			
		英語Ⅳ	2		キャリア開発Ⅱ		2		
		フランス語Ⅰ	2	自然界と人間	宇宙の物理		2		
		フランス語Ⅱ	2		生物の科学		2		
		フランス語Ⅲ	2		生活の中の化学		2		
		フランス語Ⅳ	2		生命と環境		2		
		ドイツ語Ⅰ	2	世界と人間	哲学への招待		2		
		ドイツ語Ⅱ	2		歴史と社会		2		
		ドイツ語Ⅲ	2		多文化理解		2		
		ドイツ語Ⅳ	2		宗教と人間		2		
		中国語Ⅰ	2	総合科目 B群	人と心の世界		2		
		中国語Ⅱ	2		法律と社会		2		
		中国語Ⅲ	2		日本国憲法		2		
		中国語Ⅳ	2		民法		2		
		日本語Ⅰ春	2	社会と人間	社会と人間		2		
		日本語Ⅰ秋	2		経済と生活		2		
		日本語Ⅱ春	2		統計と確率		2		
		日本語Ⅱ秋	2		統計と社会		2		
		応用日本語Ⅰ春	2	ゆたかな人間性	人と環境		2		
		応用日本語Ⅰ秋	2		人権と政治		2		
		応用日本語Ⅱ春	2		文章表現入門		2		
		応用日本語Ⅱ秋	2		文学への招待		2		
		日本語研究Ⅰ春	2		美術の見方		2		
		日本語研究Ⅰ秋	2		音楽のたのしみ		2		
		日本語研究Ⅱ春	2		生涯スポーツ論		2		
		日本語研究Ⅱ秋	2		生涯スポーツ実習		1		
		情教 報育	情報処理Ⅰ	2					
			情報処理Ⅱ	2					

(専門教育科目)

2 専門教育科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野	授 業 科 目	単位数		区分 分野	授 業 科 目	単位数		
		必 修	選 択			必 修	選 択	
専門教育科目	学部 共通 科目	心理学Ⅰ		2	保育・子ども教育領域	教育原論		2
		心理学Ⅱ		2		教職論		2
		子どもの心理発達		2		教育行政学		2
	学科専門基礎科目	社会福祉		2		教育課程論		1
		保育課程論		2		保育指導法(健康)		2
		子育て支援論	2			保育指導法(人間関係)		2
		子ども文化論	2			保育指導法(環境)		2
		児童家庭福祉		2		保育指導法(言葉)		2
		相談援助の理論と方法Ⅰ		2		保育指導法(表現)		2
		相談援助の理論と方法Ⅱ		2		保育指導法(保育内容総論)		2
		相談援助の理論と方法Ⅲ		2		初等教科教育法(国語)		2
		相談援助の理論と方法Ⅳ		2		初等教科教育法(社会)		2
		家庭支援論		2		初等教科教育法(算数)		2
		カウンセリング		2		初等教科教育法(理科)		2
		精神医学Ⅰ		2		初等教科教育法(生活)		2
		精神医学Ⅱ		2		初等教科教育法(音楽)		2
		保育の心理学Ⅰ		2		初等教科教育法(図画工作)		2
		保育の心理学Ⅱ		1		初等教科教育法(家庭)		2
		臨床心理学		2		初等教科教育法(体育)		2
		学習心理学		2		道德教育の理論と方法(初等教育)		2
		障害児・者の心理学		2		特別活動の理論と方法(初等教育)		2
		学校臨床心理学		2		外国語活動		2
		対人関係論		2		教育の方法と技術(初等教育)		2
	社会的養護		2	生徒・進路指導論(初等教育)			2	
	教育心理学		2	幼児理解			2	
	保育・子ども教育療育	保育原理Ⅰ		2		教育相談の基礎(初等教育)		2
		保育原理Ⅱ		2		教職総合演習		2
		保育原理Ⅲ		2		介護等体験の研究		1
		子どもの保健ⅠA		2		教育実習指導		2
		子どもの保健ⅠB		2		教職実践演習(幼・小)		2
		子どもの保健Ⅱ		1		教育実習Ⅰ		2
		子どもの食と栄養Ⅰ		1		教育実習Ⅱ		2
		子どもの食と栄養Ⅱ		1		相談援助		1
乳児保育Ⅰ			1	保育相談支援		1		
乳児保育Ⅱ			1	総合	子ども総合演習Ⅰ	1		
乳児保育Ⅲ			1		子ども総合演習Ⅱ	1		
障害児保育Ⅰ			1		子ども総合演習Ⅲ	1		
障害児保育Ⅱ			1		子ども総合演習Ⅳ	1		
障害児保育Ⅲ		1	里山総合演習Ⅰ		1			
病児保育Ⅰ		1	里山総合演習Ⅱ	1				

専門教育科目	保育・子ども教育療育	病児保育Ⅱ	1	総合	里山総合演習Ⅲ	1			
		社会的養護内容	1		里山総合演習Ⅳ	1			
		保育内容(健康)	1		里山総合演習Ⅴ		1		
		保育内容(人間関係)	1		里山総合演習Ⅵ		1		
		保育内容(環境)	1		里山総合演習Ⅶ		1		
		保育内容(言葉)	1		里山総合演習Ⅷ		1		
		保育内容(表現)	1		外書講読		1		
		保育内容(保育内容総論)	1		演習Ⅰ	1			
		基礎技能(音楽A)	1		演習Ⅱ	1			
		基礎技能(音楽B)	1		演習Ⅲ	1			
		基礎技能(図画工作)	1		演習Ⅳ	1			
		基礎技能(小児体育)	1		卒業論文	4			
		専門教育科目	保育・子ども教育領域		基礎技能Ⅱ(音楽)	1			
					基礎技能Ⅱ(図画工作)	1			
保育実習指導ⅠA	1								
保育実習指導ⅠB	1								
保育実習指導Ⅱ	1								
保育実習指導Ⅲ	1								
保育実習Ⅰ	4								
保育実習Ⅱ	2								
保育実習Ⅲ	2								
子どもの国語	2								
子どもの社会	2								
子どもの算数	2								
子どもの理科	2								
子どもの生活	2								
子どもの音楽	2								
子どもの図画工作	2								
子どもの家庭	2								
子どもの体育	2								

別表Ⅳ－(3)

(教職関連科目)

1 教職関連科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

学部 の 名称	学科 の 名称	授 業 科 目	単位数
心理 学部	心理 学科	教職論	2
		教育原論	2
		教育行政学	2
		教育課程論	1
		社会科・地歴科教育法Ⅰ	2
		社会科・地歴科教育法Ⅱ	2
		社会科・公民科教育法Ⅰ	2
		社会科・公民科教育法Ⅱ	2
		特別活動の理論と方法	2
		教職総合演習	2
		介護等体験の研究	1
		教育実習指導	2
		教育実習	4
		教職実践演習(中・高)	2

〈文化財学部〉

別表Ⅴ－(1) 文化財修復国際協力学科

(教養科目)

1 教養科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野	授 業 科 目	単位数		区分 分野	授 業 科 目	単位数		
		必修	選択			必修	選択	
教養 科目	基礎 A群	英語Ⅰ	2	基礎 B群	ドイツ語Ⅰ		2	
		英語Ⅱ	2		ドイツ語Ⅱ		2	
		実用英語Ⅰ			2	中国語Ⅰ		2
		実用英語Ⅱ			2	中国語Ⅱ		2
		英語コミュニケーション			2	哲学Ⅰ		2
		上級英語			2	哲学Ⅱ		2
		コンピュータリテラシー	2			心理学Ⅰ		2
		情報処理入門Ⅰ			2	心理学Ⅱ		2
		情報処理入門Ⅱ			2	社会学Ⅰ		2
		情報処理入門Ⅲ			2	社会学Ⅱ		2
		エンカレッジⅠ	1			法学Ⅰ		2
		エンカレッジⅡ	1			法学Ⅱ		2
		キャリア開発Ⅰ	1			化学Ⅰ		2
		キャリア開発Ⅱ	1			化学Ⅱ		2
		国際関係論			2	物理学Ⅰ		2
		日本論			2	物理学Ⅱ		2
						生物学Ⅰ		2
						生物学Ⅱ		2
			生涯スポーツ論		2			
			生涯スポーツ実習		1			

〈専門教育科目〉

2 専門教育科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野	授 業 科 目	単位数		区分 分野	授 業 科 目	単位数			
		必修	選択			必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目	国際協力概論Ⅰ	2	関連科目	現代美術概論		2		
		国際協力概論Ⅱ	2		近世文書概論		2		
		基礎社会学Ⅰ			2	芸術概論		2	
		基礎社会学Ⅱ			2	工芸技法論		2	
		現代社会学Ⅰ			2	西洋絵画技法		2	
		現代社会学Ⅱ			2	東洋絵画技法		2	
		文化財保存学Ⅰ	2			アートオンペーパー修復技法		2	
		文化財保存学Ⅱ	2			東洋の文化財文様学		2	
		文化史Ⅰ			2	文化財から学ぶ歴史と科学		2	
		文化史Ⅱ			2	世界の歴史画と地域文化		2	
		美術史Ⅰ			2	文化財探求科目	ドイツ語と社会・文化		2
		美術史Ⅱ			2		歴史の中の哲学		2
		文化財の科学Ⅰ			2		よみがえる文化財		2
		文化財の科学Ⅱ			2		文化財が語る歴史と社会		2
		文化財の材料科学Ⅰ			2		吉備地域学		2
		文化財の材料科学Ⅱ			2		文化財保護の現状		2
		文化財保存環境科学Ⅰ			2		現代美術とは何か		2
		文化財保存環境科学Ⅱ			2		工芸技法と材料		2
		製紙科学Ⅰ			2		工芸塗装の技法と材料		2
		製紙科学Ⅱ			2		文化財保存学		2
	海外文化財実習		2	日本の文化史			2		
	博物館学	生涯学習概論		2	美術史			2	
		博物館学概論		2	文化財の科学			2	
		博物館資料論		2	文化財の材料分析			2	
		博物館経営・情報論		2	文化財と環境			2	
		博物館実習		3	鉄道考古学			2	
		教育工学		2	文化財非破壊分析法			2	
		教育原論		2	地域遺産を巡る			2	
	保存修復学	西洋美術修復学Ⅰ		2	西洋美術修復概論			2	
		西洋美術修復学Ⅱ		2	東洋美術修復概論			2	
		西洋美術修復学Ⅲ		2	書物の歴史			2	
		東洋美術修復学Ⅰ		2	文化財修復基礎演習			2	
		東洋美術修復学Ⅱ		2	近代化遺産を学ぶ		2		
		東洋美術修復学Ⅲ		2	近代化遺産とまちづくり		2		
		記録資料修復学Ⅰ		2	近代化遺産演習		2		
		記録資料修復学Ⅱ		2	光と物質		2		
		記録資料修復学Ⅲ		2	科学の目で見る文化財		2		
		近代化遺産活用論		2	文化財情報学		2		
		写真撮影技術		2	世界の美術館		2		
		文化財デジタルアーカイブⅠ		2	芸術概論		2		
		文化財デジタルアーカイブⅡ		2	西洋絵画技法入門		2		
		文化財デジタルアーカイブⅢ		2	東洋絵画技法入門		2		
光と色の科学Ⅰ			2	版画技術の歴史		2			

専門教育科目	保存修復学	光と色の科学Ⅱ		2	研究	実験計画法		2
		文化財科学分析基礎Ⅰ		2		論文作成法		2
		文化財科学分析基礎Ⅱ		2		文化財学演習Ⅰ		4
		文化財情報学Ⅰ	2			文化財学演習Ⅱ		4
		文化財情報学Ⅱ	2			卒業論文	4	

別表V-(2) アニメーション文化学科
(教養科目)

1 教養科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野	授 業 科 目	単位数		授業科目 区分, 分野	授 業 科 目	単位数			
		必修	選択			必修	選択		
教養科目	言語教育	英語Ⅰ		2	総合科目 A群	世界の中の日本	2		
		英語Ⅱ		2		備中高梁に学ぶ	2		
		英語Ⅲ		2		キャリア開発Ⅰ	2		
		英語Ⅳ		2		キャリア開発Ⅱ		2	
		フランス語Ⅰ		2	自然界と人間	宇宙の物理		2	
		フランス語Ⅱ		2		生物の科学		2	
		フランス語Ⅲ		2		生活の中の化学		2	
		フランス語Ⅳ		2		生命と環境		2	
		ドイツ語Ⅰ		2	世界と人間	哲学への招待		2	
		ドイツ語Ⅱ		2		歴史と社会		2	
		ドイツ語Ⅲ		2		多文化理解		2	
		ドイツ語Ⅳ		2		宗教と人間		2	
		中国語Ⅰ		2	総合科目B群	人と心の世界		2	
		中国語Ⅱ		2		社会と人間	法律と社会		2
		中国語Ⅲ		2			日本国憲法		2
		中国語Ⅳ		2			民法		2
		日本語Ⅰ春		2			社会と人間		2
		日本語Ⅰ秋		2		経済と生活		2	
		日本語Ⅱ春		2		統計と確率		2	
		日本語Ⅱ秋		2		統計と社会		2	
		応用日本語Ⅰ春		2		人と環境		2	
		応用日本語Ⅰ秋		2		人権と政治		2	
		応用日本語Ⅱ春		2		ゆたかな人間性	文章表現入門		2
		応用日本語Ⅱ秋		2			文学への招待		2
		日本語研究Ⅰ春		2	美術の見方			2	
		日本語研究Ⅰ秋		2	音楽のたのしみ			2	
		日本語研究Ⅱ春		2	生涯スポーツ論		2		
		日本語研究Ⅱ秋		2	生涯スポーツ実習		1		
情教 報育	情報処理Ⅰ	2							
	情報処理Ⅱ	2							

*外国人留学生のための科目として、日本語関連科目を開講する。

〈専門教育科目〉

2 専門教育科目の授業科目ならびに単位数は次のとおりである。

授業科目 区分, 分野	授 業 科 目	単位数		区分 分野	授 業 科 目	単位数		
		必修	選択			必修	選択	
専門教育科目	専門基礎科目	文化史 I		2	アニメーション科目	日本アニメ文化論	2	
		文化史 II		2		アニメーション基礎	2	
		美術史 I		2		アニメーション概論	2	
		美術史 II		2		デッサン基礎 I		2
		色彩学		2		デッサン基礎 II		2
		撮影光学		2		広告原理		2
		文化財情報学 I		2		色彩心理学		2
		文化財情報学 II		2		映像概論		2
		現代社会学 I		2		認知科学概論		2
		現代社会学 II		2		映像音響概論		2
		文化財保存学 I		2		アニメーション演習 I		2
		文化財保存学 II		2		アニメーション演習 II		2
		現代美術概論		2		2DCGアニメーション演習		2
		芸術概論		2		3DCGアニメーション演習		2
		工芸技法		2		シナリオ制作		2
		コンピュータグラフィックス基礎 I		2		著作権法学		2
		コンピュータグラフィックス基礎 II		2		ブランド戦略と知的財産法		2
		西洋絵画技法		2		映画・アニメの著作権		2
		東洋絵画技法		2		出版・マンガの著作権		2
		文化財から学ぶ歴史と科学		2		アニメーション実習 I		2
	国際協力概論 I		2	アニメーション実習 II		2		
	国際協力概論 II		2	アニメーション実習 III		2		
					関連科目	文化財の科学 I		2
						文化財の科学 II		2
						光と色の科学 I		2
						光と色の科学 II		2
						東洋の文化財文様学		2
						文化財保存環境科学 I		2
				文化財保存環境科学 II			2	
				インターンシップ			2	
				研究	卒業研究 I	5		
					卒業研究 II	5		

別表VI (納付金)

一 入学検定料 30,000 円

(ただし、大学入試センター試験及び日本留学試験利用入試は 15,000 円、専願入試は 10,000 円)

二 入 学 金 300,000 円

三 授業料, その他納付金

社会学部

学 科 名	授 業 料	施設設備費	合 計
国際社会学科	700,000 円	330,000 円	1,030,000 円
ビジネス コミュニケーション学科	700,000 円	330,000 円	1,030,000 円
スポーツ社会学科	760,000 円	350,000 円	1,110,000 円

保健医療福祉学部

学 科 名	授 業 料	施設設備費	合 計
看護学科	1,146,000 円	350,000 円	1,496,000 円
理学療法学科	1,146,000 円	350,000 円	1,496,000 円
作業療法学科	1,146,000 円	350,000 円	1,496,000 円
社会福祉学科	853,000 円	350,000 円	1,203,000 円

国際環境経営学部

学 科 名	授 業 料	施設設備費	合 計
環境経営学科	700,000 円	330,000 円	1,030,000 円

心理学部

学 科 名	授 業 料	施設設備費	合 計
心理学科	803,000 円	350,000 円	1,153,000 円
子ども発達教育学科	853,000 円	350,000 円	1,203,000 円

文化財学部

学 科 名	授 業 料	施設設備費	合 計
文化財修復国際協力学科	810,000 円	350,000 円	1,160,000 円
アニメーション文化学科	810,000 円	350,000 円	1,160,000 円